

J R 東日本労働組合

NAGANO

E-mail naga-30-naga@hotmail.co.jp



2018年 4月 9日 No. 259

JR東日本労働組合

長野地方本部

発行者：臼井幸一

編集：情宣部

緊急全職場代表者会議が開催されました！

4月4日に長野市の南千歳公民館において「緊急全職場代表者会議」が開催され、長野地本の各支部・分会・職場の代表者が集まり「2018春闘の取り組み総括」と「情勢の認識一致と今後の取り組み」の二つの議題について議論を深めてきました。



臼井委員長からは「春闘について、完全に労働者側の敗北。総括して次につなげる」「組織拡大について、14,000人の規模で東労組から脱退している。労働協約から外れればどうなるのか？ユニオンへの組織拡大を突き詰めていく」などの話がされました。

来賓の本部岡村中執からは「一連の問題を通じてJR労働者の質を上げていく。脱退者と向き合い議論していく。東労組の瓦解は3回目。我々が東労組を脱退したときは袂を分かたせられども同じJR労働者として共に頑張ろうと話をした。今回は東労組を抜けてもいいけれども他労組にはいくな！と、無責任な発言をしている。責任を持たずに組合員を野に放ったことを許してはいけない。無所属の人たちと向き合うために私たち一人一人が一步前を出よう」などの話がされました。

2018春闘総括の取り組み総括では、0.25%という定率回答で社員一律回答を引き出せなかった。会社になめられている一方、我々も盛り上がり欠けていた。盛り上がりを創り出すのは我々。敗北を認め、春闘総括集会や議論の場を作り、2018春闘の見解を読み合わせてほしい、などの話がされました。



情勢の認識一致と今後の取り組みでは、①労使共同宣言に依拠していたために東労組は瓦解し、一方的に会社から解約された。ユニオンは労使で協議を積み重ね、互いの合意の下で解約した。JR東日本新鉄道労働組合とも結ばれないだろう。今後もしは非々でいく。自分達で作った組織で自分達の運動を創り出していこう ②14,000人規模で東労組組合員が脱退した。社友会などは会社に対する交渉権などの権利が一切無い。そこに属していれば大丈夫という大きな勘違いをしている。我々が事実を伝えていかなければならない。今後の会社の動きを注視していこう ③『過半数代表者』に立候補して職場の問題に向き合い、意見を公平に聞ける社員代表者で働きやすい職場を創り出していこう ④組合掲示板の実態把握をしていく ⑤新入社員、脱退者も含めた組合ガイダンスを開いていく ⑥不当労働行為の点検行動をしていく、などの話がされました。

JR労働者の総力で問題克服に向けた運動を創り出そう！